



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区

松本純 まちかど政治瓦版



令和2年2月1日号
発行
かながわ
1区支部
発行責任者
平木 茂
2月号
2020年
No.206

松本純ホームページ 毎日更新中! <https://jun.or.jp/> ▶ 検索キーワード「松本純」

「生業を守る政治」を実現してゆきます

横浜の地産地消

農業者や漁業従事者の高齢化と事業継続が課題

あまり知られていませんが、
横浜は全国でも例を見ない農地
と住宅地が混在した都市です。

農地が市域面積の約7%に当
たる約2,920haの農地があり、
主に市内の3,451戸の農家が耕作
しています。

農地の約93%は畑で、主に野
菜や果樹、花きを栽培していま
す。野菜でいえば、キャベツ、
ダイコン、ホウレンソウ、トマ
ト、コマツナ、サツマイモ、ジ
ャガイモが主な生産品目で、果
樹も「浜なし」のブランドで知
られるナシを中心に、ブドウ、
カキ、ウメ、キウイなどが生産されています。



JA横浜青壮年部ポスターコンクールプロジェクトリーダー田中俊哉

また、畜産も規模は大きくないものの高品質な「はまポーク」・「横浜ビーフ」などが生産されていま
す。また、このような農地は治水や地下水などの天然資源の確保にも大きな役割を果たしています。

横浜市では「横浜都市農業推進プラン2019-2023」を策定し、「1、持続できる都市農業の推進」「2、市
民が身近に農を感じられる場を作る」を目標に、担い手支援や農業事業者の経営安定、ふれあいの機会の
提供などを行っています。

また、横浜には漁業も存在します。横浜市には167の漁業事業者が存在し、700人以上の方が漁業に携わ
っています。都会という大消費地及び近隣に食の生産拠点と自然空間があることは大規模災害などを考え
た場合、非常に重要であり、世界が推進するSDGs（持続可能な開発目標）、横浜が掲げる『SDGs未来都
市』構想とも合致するものであります。しかし、現在、農業者や漁業従事者の高齢化と事業継続が大きな
問題にもなっています。

松本純は、農業者や漁業者の方々が安心して、農業や漁業を継続するための法整備や政策支援を行っ
てゆきたいと考えています。松本の大きな政治目標である『生業を守る政治』を実現してゆきます。

いま地域で
(人・まち・出来事)

金沢の「海の魅力」を守っていききたい

・有限会社 一之瀬丸三代目代表取締役 一之瀬 徹也さん(金沢区)
・神奈川県釣船業協同組合専務理事

八景島や海の公園など海辺の観光スポットとして知られる「金沢八景」は、漁港としても人気を集めています。東京湾での四季折々の釣りが首都圏エリアから身近に楽しめ、花火大会などのイベントが金沢の海の風情を引き立てています。この港で釣り船業を営む一之瀬徹也さん(47歳)は、(有)一之瀬丸の三代目。目下10隻の船で、ベテランからビギナーまでの釣り好きや、釣りを通じて身近に海を楽しみたいという女性客や家族連れ、企業のレクリエーション活動など多様な釣りの魅力を提供しています。船から上がれば、宿の屋上テラスでバーベキューや、お茶を飲みながら会話が楽しめるなど、釣り船店は、今や海辺の穴場的なスポットになっています。東京湾の釣りの魅力を知り尽くすベテラン船長・一之瀬さんは、県釣船業協同組合の専務理事としても、業界の発展と地位向上のために舵をとっています。今、組合に所属する13事業者の仲間たちと力を入れているのは、海的环境保護のための清掃や、海洋資源育成のための稚魚放流活動など。「釣りの楽しさは、海の魅力を知り、実感できることです。3年前から始めた区内の高校の授業やクラブ活動での年3回の釣り体験も好評です」と話す一之瀬さんは、「多くの方に安全安心な釣りを楽しんでもらうことで、海的环境保全にも尽くしていきたい」と、笑顔で語ってくださいました。



「金沢の海が故郷です」と話す一之瀬船長

【2020年1月】

松本純議員の活動記録

- 1日●実践倫理宏正会京浜金沢支部元朝式
- 5日●新條流令和元年度盃交換会・新年会
●横浜市加賀町消防団新春出初式
- 6日●横浜市会新年賀詞交歓会
●横浜船主会・横浜港運協会共催令和2年新年賀詞交歓会
- 7日●自民党本部新年仕事始め
●清水康弘駐ギリシャ大使挨拶
- 9日●中区第三地区連合自治会令和2年賀詞交歓会

- 協同組合元町SS会令和2年新年賀詞交歓会
- 10日●自由民主党横浜市支部連合会賀詞交歓会
●全党国対委員長会談
- 11日●磯子消防出初式
●令和2年横浜吟友会初吟会
- 12日●第18回かながわ薬剤師学術大会
- 15日●日本薬剤師会新年賀詞交歓会
- 20日●第201回通常国会応召手続き



1/5 大道町内会新年会●松本純代議士より「令和」が輝ける時代になるよう国政に努めていくとの挨拶が述べられ、長谷川会長や町内会の方々と和気あいあいとした意見交換が行われました。



1/9 馬車道商店街協同組合新年賀詞交歓会●六川勝仁理事長より「この北仲エリアは一気に発展すると思う。活気ある馬車道の為に取り組みます」との挨拶に、松本純代議士から祝辞がなされました。



1/12 日ノ出町町内会餅つき大会●青年会の吉田祐輔会長、婦人部の皆さんのお餅づくりで大賑わい。松本純代議士や野毛オールスターズの選手の面々も餅つきに参加、掛け声が町内会館に響きました。



1/13 令和2年屏風浦地区連合町内会新年賀詞交歓会●齊藤陸男会長より地域が消防局長賞を授賞した報告や、今年の抱負が述べられ、松本純代議士からも新年の挨拶が述べられました。

永田町日記

安倍総理の国会運営を支えてゆきます

初めての令和の新年を迎えました。安倍総理は年頭所感で「東京オリンピック・パラリンピックの年が幕を開けました」と、新しい年の始まりを宣言するとともに、「人間、夢があるからこそ成長できる。いつの時代も『夢見る力』が大切なんです」。東京五輪、重量挙げ金メダリスト、三宅義信選手の言葉を引用し、夢を持てる政治を実現したいとしました。また、5年後に開かれる大阪・関西万博にも触れ、夢の継続を掲げました。そして、「未来への躍動感があふれている今こそ、新しい時代に向けた国づくりを力強く進める時」とし、着実な政策の実現をするとの決意を表明されました。

幼児教育無償化や今春から始まる高等教育の無償化など実現した政策にも触れ、働き方改革を進め、女性も男性も、若者もお年寄りも、障害や難病のある方も、誰もが活躍できる一億総活躍社会を作り、我が国の美しい海、領土、領空は、しっかりと守り抜いていくと強い決意を語りました。松本純は今年も国会対策委員長代理として安倍総理の国会運営を支えてゆきます。

